



家康公ゆかりの地



とは、弊社のオリジナルブランドです。

時は戦国時代。静岡県浜松市の北方にあたる三方原台地で、元亀3年12月22日(1573年2月4日)に徳川家康と武田信玄による戦がありました。これが、世に言う「三方原合戦」です。家康は、この戦に大敗して命からがら城へ逃げ帰りました。夜になって徳川軍は、崖の近くに陣取った武田軍を急襲したところ、地形に詳しくなかった武田軍は不意をつかれ、誤って崖下に落ち、多くの人が死んだと言い伝えられています。その結果、徳川軍は打ち取られずに済み、武田軍の攻撃を食い止めたと言われています。この話にはこんな言い伝えも残っています。この日、温暖な浜松にはめずらしく、雪が降っていたそうです。家康は、崖に白い布を掛けて橋に見せかけようと考え、それを武田軍が雪が積もった橋と間違え渡ろうとして崖に落ちたという伝説です。その場所は今でも「布橋」という地名が残っています。その伝説から布の可能性を広げる意味を込めて「ぬの橋」というブランド名にいたしました。

made in 遠州へのこだわり

浜松が属する遠州地域は、日本で一番晴天が多く、日照時間が長いとされています。更に、温暖な気候ということもあり、江戸時代中期から全国的に有名な綿花の産地となりました。それらを背景に綿織物が発達し、1898年には豊田佐吉(後のトヨタ自動車創設者)が小幡力織機を発明、その後鈴木道雄(後のスズキ自動車創設者)が「鈴木式織機」を発明したことを機に繊維産業は浜松を中心に遠州の一大産業に発展していきました。近年では海外の安価製品におされ生産数を下げているものの、現在でもコールテン、別珍などの生地や、国産浴衣の生産は全国一位とされています。そんな小幡力織機という昔ながらの織機で織った布は、独特な柔らかい風合いがあります。その生地を使用している様々な染め方に挑戦し、今は大量生産に押されてしまわなくなってしまったものをもう一度復活させようという試みです。

注染手ぬぐい

「ぬの橋」ブランド第一弾。

made in ENSYU 

注染染めとは、染料をヤカンと呼ばれるジョウロのような道具で注いで染めることからこの名が付けました。染料や糊を洗い流す大量の「水」と、反物を乾かす「風」が必要となりますが、浜松には豊富な地下水と天竜川・馬込川等の河川があり、また“遠州の空っ風”と呼ばれるが風が年間を通じて吹いていて、注染染めには非常に適しています。このような好立地条件と、もともと江戸時代に綿の産地で有名だったことから、関東大震災で職場を失った東京の職人や関西からも職人を呼び込み、浜松は注染染めの一大産地となって行きます。現在、浜松は東京・大阪と並ぶ「注染ゆかた」三大産地のひとつです。そんな注染染めをもっと身近に感じてもらいたく、手ぬぐいにしてみました。タオルやハンカチの代わりににもなりますし、贈り物やお年賀、ご挨拶のお品物にもぴったりです。

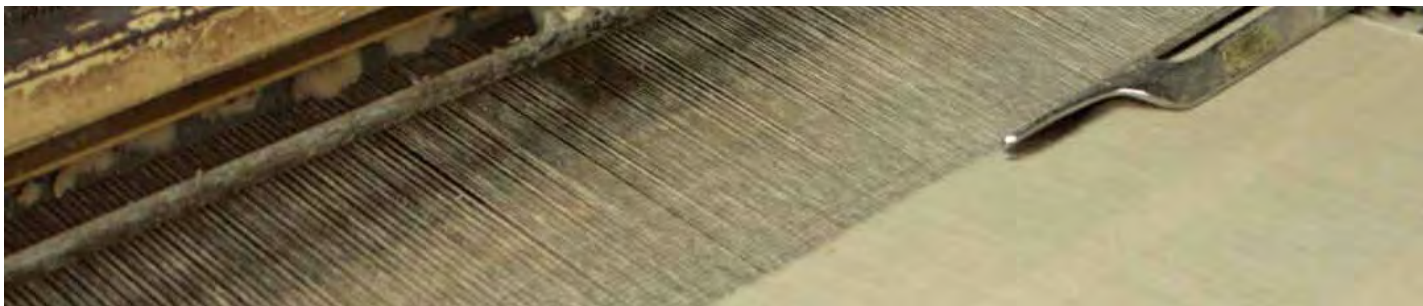


天日干しはままつりネン

「ぬの橋」ブランド第二弾。

made in ENSYU 

独特の技術をもった職人さんが、丁寧に手で作業をし、染色を行い、遠州地方独特の強風「遠州の空っ風」と日光をたっぷり浴びさせる天日干しにて生地を乾燥させ仕上げた生地です。天然素材の持つ豊かな表情を活かすため、機械的な圧力・張力等を加えることなく、精練染色に長い時間をかけて作られております。シャトル織機の風合いと天日干しの風合いが合わさり、他に類を見ない生地となっております。そんな浜松ならではの生地をお届けしたく、いろんなアイテムを作成しました。



注染手ぬぐい

made in ENSYU 

誰もがその名を知っている「徳川家康」。戦国時代を終わらせ、天下統一を果たし、江戸時代初代将軍という功績を残した人物。そんな家康ですが、若かりし頃は、たくさん苦い思いをしています。そんな若さならではの逸話をコミカルに表現しました。

製品サイズ：約 33×90 cm 税込価格：¥1,320-



●ひづめ●



「三方原合戦」で、家康は大敗し、命からがら浜松城に逃げ帰りました。夜になって徳川軍は、崖の近くに陣取った武田軍を急襲したところ、地形に詳しくなかった武田軍は不意をつかれ、誤って崖下に落ち、多くの人馬が死んだと言い伝えられています。その結果、徳川軍は打ち取られずに済み、武田軍の攻撃を食い止めたと言われています。この話にはこんな言い伝えもあります。この日、温暖な浜松にはめずらしく、雪が降っていたそうです。家康は、崖に白い布を掛けて橋に見せかけようと考え、それを武田軍が雪が積もった橋と間違え渡ろうとして崖に落ちたという伝説です。その場所は今でも「布橋」という地名が残っています。



●小豆餅（あずきもち）●



静岡県浜松市に実在する地名「小豆餅」。由来は、徳川軍対武田軍の戦い「三方原合戦」で、家康は大敗し、命からがら浜松城に逃げ帰ります。その逃げ帰る途中でお腹がすいてしまい、茶屋に寄って小豆餅を食べたそうです。その場所が「小豆餅」となりました。この逸話には続きがあります。小豆餅を食べていると武田軍が追ってきました。そこで家康は食い逃げをさせていただきます。その茶屋のお婆さんが食い逃げの家康を追いかけ、銭を徴収したとされています。その場所が「銭取」という地名になり、今ではバス停にその名前が残っています。



●銭取（ぜにとり）●



静岡県浜松市に実在する地名「銭取」。由来は、徳川軍対武田軍の戦い「三方原合戦」で、家康は大敗し、命からがら浜松城に逃げ帰ります。その逃げ帰る途中でお腹がすいてしまい、茶屋に寄って小豆餅を食べたそうです。小豆餅を食べていると武田軍が追ってきました。そこで家康は食い逃げをさせていただきます。その茶屋のお婆さんが食い逃げの家康を追いかけ、銭を徴収したとされています。その場所が「銭取」という地名になり、今ではバス停にその名前が残っています。



●たぬき●



徳川家康は体系や容姿などから「たぬき」と呼ばれていたり、または、たぬきは昔から人を化かすと言われており、そこから表面は善人でも、考えや行動がずる賢く狡猾な人のことをたぬきと呼ぶようになった経緯があります。ですが、たぬきは「た（他）を抜く」の語呂合わせから「人よりも抜きん出る」という意味が込められ商売繁盛の縁起物とされています。



●スイカズラ●



徳川家康は健康オタクだったこともあり、自分で薬を調合したり、お酒を造ってよく飲んでいたそうです。それは本格みりんをベースにスイカズラ（忍冬）をつけこんだ「忍冬酒」で、平均寿命が40歳だった時代に75歳まで生きた家康にあやかり、不老長寿のお酒として珍重されていたそうです。スイカズラは、甘い香りのする半常緑つる性の植物です。寒い冬に耐え忍ぶように葉をつける姿から忍冬（にんどう）といわれます。また金銀花とも呼ばれ、風水学的にも縁起の良い植物とされています。解熱作用や抗菌作用があるとされ、古くから用いられてきました。



注染手ぬぐい生地を使って雑貨作りました！！

【巾着】

巾着は昔のお財布。なんでも入れられる何かと便利な巾着。裏地に「遠州木綿」を使用し、厚手でしっかりとした巾着です。ひもも浜松で作られたひもを使用。「all 遠州」にこだわりました。

製品サイズ：約 19×27 cm 税込価格：¥1,980-



●ひづめ●



●小豆餅 BL●



●小豆餅 PK●



●銭取●



●たぬき●



●スイカズラ GR●



●スイカズラ YE●



【あづま袋】

あづま袋は昔のエコバッグ。2020年のレジ袋有料化に伴い、エコバッグを常に持ち歩く人が増えたと思います。そんな中、布製のエコバッグがあっても良いのではということで、昔から使われているあづま袋を作りました。手ぬぐい1枚から作ることができます。

製品サイズ：約 44×44 cm 税込価格：¥2,530-



●ひづめ●



●小豆餅 BL●



●小豆餅 PK●



●銭取●



●たぬき●



●スイカズラ GR●



●スイカズラ YE●

天日干しはまつリネン

made in ENSYU 

ヨーロッパ産のリネンを浜松で織り、染め、天日干しをした生地を使用し、いろんなアイテムを作りました。独特のムラと色味、シワ感がナチュラルな素材です。



戦後から大切に扱われているシャトル織機は今でも現役で活躍しています。



タテ糸を1本1本丁寧に手作業で通しており、職人の技が光る生地です。



浜松市は日照時間が長く温暖な土地柄、さらに風が強く天日干しに最適な環境です。



天候に左右されますが、遠州の風を受け、趣深い生地になっていきます。

色も遠州にちなんだ色を選びました。



砂丘の色



天竜美林の色



みそまんの色



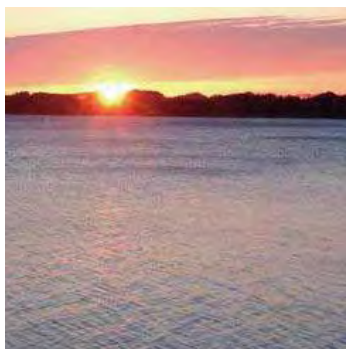
小豆餅の色



海の色



天竜川の色



夕焼け空の色



浜松城の瓦の色



TABLE & KITCHEN FABRIC

— テーブル・キッチンファブリック —



【コースター】

両面使える二枚合わせタイプ。

製品サイズ：約 10×10 cm

税込価格：¥660-



【ランチョンマット】

両面使える二枚合わせタイプ。

製品サイズ：約 33×43 cm

税込価格：¥2,200-



【キッチンタオル】

吊るすこともできる紐つき。

製品サイズ：約 40×40 cm

税込価格：¥1,650-



【メルカドバッグ】

A4 サイズも余裕で入るガシガシ使えるざっくりバッグ。

製品サイズ：約 33×43×7 cm

税込価格：¥4,400-



INTERIOR FABRIC

— インテリアファブリック —

ヘリンボーンが美しい厚手の生地です。



【クッションカバー】

YKK ファスナー使用。

製品サイズ：約 45×45 cm

税込価格：¥3,850-



【座布団カバー】

YKK ファスナー使用。大きめのクッションカバーにもなります。

製品サイズ：約 33×43 cm

税込価格：¥4,180-



【ソフトスリッパ M・L】

スリムな形がスタイリッシュ。

製品サイズ：M/23.5 ~ 25 cm

L/25 ~ 27 cm

税込価格：M/¥3,190-

L/¥3,520-



【たたみスリッパ M・L】

たたみの上を歩く感覚でさらりと気持ち良いスリッパです。

製品サイズ：M/23.5 ~ 25 cm

L/25 ~ 27 cm

税込価格：M/¥2,750-

L/¥3,080-



BED FABRIC

— ベッドファブリック —

ベッドリネンの適した肌当たりの良い厚めの生地です。



【ピロケース】

参考税込価格：¥3,630-

※写真はイメージです。



【ルームパンツ】

参考税込価格：¥11,000-

※写真はイメージです。

ワッフル素材がふんわり気持ち良い。



【スローケット】

製品サイズ：約 130×180 cm

税込価格：¥12,100-



榎本株式会社

〒430-0928 静岡県浜松市中区板屋町 562 番地

TEL : 053-458-3710 FAX : 053-453-5636

HPURL : <https://www.enomoto-hamamatu.co.jp>

